

本庄市及び周辺自治体高齢者福祉事業一覧

1. 要介護高齢者介護手当支給事業

2. 要介護者紙おむつサービス事業

3. 要介護高齢者訪問理美容サービス事業

4. 高齢者入浴料助成事業

5. 緊急通報システム事業

6. 徘徊高齢者探知事業

7. 徘徊高齢者等見守り事業

8. 福祉電話設置事業
9. 家族介護慰労金支給事業

10. 高齢者生活支援短期入所事業（ショートステイ）

11. 要介護高齢者ふとん乾燥等事業

12. 高齢者住宅整備資金融資事業

13. 敬老祝金給付事業

14. 敬老助成事業

15. 敬老お祝い品引き換え事業

16. 外国人高齢者福祉手当支給事業

本 庄 市	（人口構成の変化）	熊 谷 市	深 谷 市
R5.6.1現在 人口 77,397人 65歳以上人口 22,653人 高齢化率 29.26%	・本市のこれまでの人口推移をみると、わずかに減少傾向が続いている。 ・年少人口（15歳未満）及び生産年齢人口（15歳以上65歳未満）は微減で推移しているものの、高齢者人口（65歳以上）はわずかに増加している。 ・高齢者の人口増加はR22年度まで続く予想。	R5.10.1現在 人口 192,553人 65歳以上人口 58,596人 高齢化率 30.43%	R5.10.1現在 人口 141,448人 65歳以上人口 42,674人 高齢化率 30.2%
行 田 市	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
R5.10.1現在 人口 78,425人 65歳以上人口 25,747人 高齢化率 32.8%	R5.4.1現在 人口 58,892人 65歳以上人口 20,476人 高齢化率 34.8%	R5.4.1現在 人口 112,230人 65歳以上人口 34,600人 高齢化率 30.8%	R6.4.1現在 人口 53,757人 65歳以上人口 16,722人 高齢化率 31.11%
鴻 巣 市	上 里 町	美 里 町	神 川 町
R5.10.1現在 人口 117,658人 65歳以上人口 36,157人 高齢化率 30.7%	R5.10.1現在 人口 30,543人 65歳以上人口 8,858人 高齢化率 29.0%	R5.10.1現在 人口 10,829人 65歳以上人口 3,667人 高齢化率 33.9%	R5.10.1現在 人口 12,943人 65歳以上人口 4,314人 高齢化率 33.3%

本 庄 市		熊 谷 市	
1. 要介護高齢者介護手当支給事業		ねたきり老人等介護手当支給事業	
【事業内容】 ・60歳以上の要介護4・5で、在宅の者を介護している同居の者に対し月額8,000円の手当を支給 ・4月、8月、12月にそれぞれ4ヶ月分をまとめて支給 ・16日以上入院・施設入所・ショートステイがあった月は支給対象外 【対象要介護高齢者】 ・60歳以上の要介護4・5の要介護高齢者		【事業内容】 ・65歳以上でねたきり状態が6ヶ月以上続いている高齢者又は重度の認知症高齢者を在宅で介護している方に月額5,000円を支給 ・支給月：9月3月の年2回 【対象要介護高齢者】 ・65歳以上でねたきり状態が6ヶ月以上続いている高齢者又は重度の認知症高齢者	
(R5年度) 延べ478件 (R4年度) 延べ435件 (R3年度) 延べ442件		(R5年度) 193人 (R4年度) 214人	
行 田 市		秩 父 市	
在宅重度要介護高齢者等介護手当		在宅要介護高齢者手当	
【事業内容】 ・重度の要介護状態により介護を必要とする方を現に在宅で介護している方に月額5,000円を支給 【対象要介護高齢者】 ・行田市に実際に住んでいて、6ヶ月以上行田市に継続して住民票がある40歳以上で、要介護4または要介護5の要介護認定を受けた状態が6ヶ月以上続いている方 ・介護保険料を滞納していない方 ・市県民税が課税されていない方		【事業内容】 ・市内に住所を有し、65歳以上で要介護4又は要介護5と認定された後、6ヶ月以上続いている方本人に月額10,000円を支給 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有する65歳以上で、介護保険法による要介護4または5と認定された後6か月以上経過している方で、月の初日から末日までの期間、施設等に入所または入院している方は非該当 ・介護保険料の未納のない方 ・生活保護を受給していない方	
(R5年度) 81人 (R5.12) (R4年度) 107人		(R5年度) 336延べ人数 (R4年度) 341延べ人数	
鴻 巣 市		美 里 町	
在宅要援護高齢者介護者手当		在宅重度要介護高齢者介護手当	
【事業内容】 ・在宅の要援護高齢者を常時介護している者に手当を支給 ・支給額：月5,000円 ・支給月：9月（1月～6月分）・3月（7月～12月分） 【対象要介護高齢者】 65歳以上の要介護4・5と認定された方（要援護高齢者）で在宅もしくは入院中 【支給対象者】 次の要件全てを満たす方 ・要援護高齢者と市内において継続して1年以上同居（生計を一にし、住民票で世態の構成が同一の事をさす）し、3ヶ月を超えて介護している方1名 ・介護保険料を滞納していない方 ・在宅重度障害者手当を受給していないこと ・介護者が要介護2～5の認定を受けていないこと		【事業内容】 ・重度の要介護高齢者を在宅で介護している家族の方に月額8,000円支給 【対象要介護高齢者】 ・介護保険要介護認定が4または5の高齢者、若しくは要介護認定が3で重度の認知症高齢者（昼夜逆転、徘徊等）	
(R5年度) 延べ316人 (R4年度) 延べ326人		(R5年度) 22人	
深 谷 市		羽 生 市	
【対象事業なし】		【対象事業なし】	
【対象事業なし】		【対象事業なし】	
神 川 町		要介護高齢者介護手当支給事業	
【事業内容】 ・要介護4・5の認定を受けている65歳以上の方を在宅で常時介護している方に月額8,000円を支給 【対象要介護高齢者】 ・要介護4・5の認定を受けている65歳以上の在宅者		(R5年度) 25人 (R4年度) 22人	

本 庄 市	懸案事項	熊 谷 市（社協）	深 谷 市
２．要介護者紙おむつサービス事業		紙おむつ支給事業	おむつサービス
【事業内容】 ・家族介護支援を目的として月１回、紙おむつ等を給付、限度額 月4,500円（限度額を超えた分は自己負担） ・対象者が市民税所得割課税世帯に属している場合は、費用の１割を負担 【対象要介護高齢者】 ・40歳以上の要介護４・５で在宅の者で失禁状態にある方	・国の方針では、第9期介護保険事業計画期間において市町村特別給付等への移行を含めた計画的な事業の廃止・縮小に向けた取組を着実に実行することとされています。 この方針を踏まえつつ、市町村特別給付等への移行を含め、事業の継続に向けて内容等を検討する必要があると考えます。	【事業内容】支給・費用無料 ・紙おむつ及び尿取りパッドを支給 ・紙おむつのみを支給 ・尿とりパッドのみを支給 ・費用：無料 【対象要介護高齢者】 ・要介護４・５に認定されている方で常時おむつを必要とする在宅生活者	【事業内容】 ・おむつを月１回、配送により支給 ・支給限度額4,500円/月（市民税課税世帯は4,050円/月） 【対象要介護高齢者】 ・在宅で常時失禁状態にある方で、要介護3（排尿・排便全介助）または要介護４・５の方 ・３歳以上で身体障害者手帳の1,2,３級または療育手帳㊤,A,Bの方（高齢者でも手帳を所持している場合、更新のない手帳を優先します）
（R5年度） 延べ1,557件 （R4年度） 延べ1,487件 （R3年度） 延べ1,410件			
行 田 市	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
紙おむつ支給事業	家族介護用品支給事業	家族介護用品支給事業	家族介護用品支給事業
【事業内容】 ・紙おむつ及び尿取りパッドを支給（委託業者による戸別宅配） 【対象要介護高齢者】 ・40歳以上で市の介護保険に加入している 要介護３以上の方 ・施設に入所、入居または病院等に入院していない方	【事業内容】 ・紙おむつ及び紙おむつ用ゴミ袋を支給（委託業者による配布） 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有し、市民税非課税世帯に属する方で在宅要介護高齢者手当を受給している方	【事業内容】 ・紙おむつ、尿取りパッド等の介護用品を現物支給 上限6,300円/月 【対象要介護高齢者】次の要件をすべて満たす方 ・身体又は精神の障がい等に等により排せつ等の介護を必要とすること ・要介護の認定を受けていること ・市内に住所を有し、市民税非課税世帯に属すること ・在宅で家族等による介護を受けていること	【事業内容】 ・紙おむつ又は紙パンツ及び尿とりパッドの介護用品を支給 【対象要介護高齢者】 ・在宅で市民税非課税世帯に属する方で要介護4または5の高齢者等
（R5年度） 255人（R5.12） （R4年度） 269人	（R5年度） 延べ401人 （R4年度） 延べ391人	（R5年度） 40人 （R4年度） 62人	（R5年度）紙おむつ延べ122人、紙パンツ延べ201人、尿とりパット延べ313人 （R4年度）紙おむつ延べ119人、紙パンツ延べ178人、尿とりパット延べ272人
鴻 巣 市	上 里 町（社協）	美 里 町	神 川 町
重度要介護高齢者紙おむつ等支給事業	在宅高齢者等紙オムツ配布事業	在宅重度要介護高齢者紙おむつ等サービス	紙おむつ支給
【事業内容】限度額月3,000円 ・在宅等の方は、限度額以内の紙おむつを家庭に配達 ・入院中で病院の紙おむつを利用している方で、それが分かる書類の写しを提出された方には、限度額内のおむつ代を支給 ・小売店等で購入した紙おむつ等も領収書等を提出された方は限度額内のおむつ代金を支給 【対象要介護高齢者】65歳以上の方で次の要件を全て満たす方 ・要介護4または5の方、要介護3で排尿排便が全介助の方、もしくは、3ヶ月を超えて入院している方で同程度の方 ・介護保険料を滞納していない方 ・介護保険施設に入所の方は除く （特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護医療院等）	【事業内容】 ・紙おむつを年に１～２回希望者へ配布 ・費用：無料 【対象要介護高齢者】 ・在宅で紙おむつ等を必要とする高齢者等 ※令和5年度にて本事業は終了。令和６年度以降の補助事業は現在検討中。	【事業内容】 ・紙おむつ等が必要な状態にある方へ、毎月１回配布 ・費用：経費の１割（月額7,000円を超える部分は自己負担） 【対象要介護高齢者】 ・介護保険要介護認定が4または5で65歳以上の方 ・在宅で紙おむつが必要な状態の方 ・住民税非課税世帯に属する方	【事業内容】 ・紙おむつを必要とする在宅で暮らす方に紙おむつを3回支給 【対象要介護高齢者】 ・介護保険要介護認定が4・5の認定を受けている在宅者 ・町民税非課税者
（R5年度） 延べ1,760人 （R4年度） 延べ1,686人	（R5年度）1回目・配布人数：150人 2回目・配布人数：162人	（R5年度） 5人	（R5年度） 37延べ人数 （R4年度） 41延べ人数

本 庄 市	懸案事項	熊 谷 市	深 谷 市（社協）
3. 要介護高齢者訪問理美容サービス事業			訪問理美容サービス
【事業内容】 ・ 理容師、美容師が居宅を訪問して理美容サービスを年度内 4 回まで提供 ・ 費用：無料 【対象要介護高齢者】 ・ 介護保険で要介護4・5に認定されている60歳以上の在宅の要介護者で、理美容店へ行くことが出来ない方	・ 事業協力店舗の減少が顕著 ・ サービスを継続するにあたり契約金額や、委託内容・利用者負担の有無などについても検討が必要であると考えます。	【対象事業なし】	【事業内容】 ・ 理容師、美容師が居宅を訪問して理美容サービスを提供 ・ 利用限度：年4回まで ・ 費用：1,000円 【対象要介護高齢者】 在宅の寝たきり高齢者等で以下に該当する方 ・ 身体障害者手帳（肢体不自由）1級または2級 ・ 介護保険で要介護4、要介護5に認定されている方
（R5年度）89人　利用のべ件数167件　1回4,100円 （R4年度）91人　利用のべ件数140件 （R3年度）94人　利用のべ件数149件			
行 田 市（社協）	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
訪問理美容			羽生市ねたきり老人等訪問理髪サービス
【事業内容】 ・ 訪問理美容サービス利用者に2,500円を支給。募金からの配布で行っているため、毎年10月から3月の間で実施 【対象要介護高齢者】 ・ 要介護3～5に認定されている方	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【事業内容】 ・ 理容師、美容師が自宅を訪問してサービスを提供 ・ 利用限度は年 4 回、1 回につき2,500円を限度額とし助成する。 【対象要介護高齢者および身体障害者】 ・ 65歳以上で、疾病等により、ねたきり状態、又は、重度の認知症であって、その状態が6ヶ月以上継続している方。※ただし、施設入所していない方 ・ 18歳以上で身体障害者手帳の交付を受け、障害程度が1級又は2級の方
（R5年度）3人 （R4年度）6人			（R5年度）利用者数　11人 （R4年度）利用者数　12人
鴻 巣 市	上 里 町	美 里 町	神 川 町
重度要介護高齢者等訪問理容・美容サービス	要介護高齢者訪問理美容サービス事業	訪問散髪サービス	訪問理髪サービス
【事業内容】 ・ 理容師・美容師が居宅を訪問して理美容サービスを受ける時に、1 回あたり4,000円を補助（出張費を含む散髪代と補助額との差額は自己負担） ・ 利用限度：年 4 回まで 【対象要介護高齢者】 ・ 65歳以上の在宅かつ介護保険料を滞納していない方で、介護保険で要介護4、要介護5に認定されている理美容店へ行くことが困難な方	【事業内容】 ・ 理容師・美容師が居宅を訪問して理美容サービスを提供。 ・ 利用限度：年 2 回まで ・ 費用：1 回あたり5,000円を補助 【対象要介護高齢者】 ・ 介護保険における要介護認定3～5の認定を受けた65歳以上の要介護者（要介護3については要介護認定時の主治医意見書に記載された認知症高齢者自立度Ⅲb以上の方）	【事業内容】 ・ 自宅へ訪問して散髪サービスを提供 ・ 利用限度：年4回まで ・ 費用：500円/回 【対象要介護高齢者】以下に両方該当する方 ・ 介護保険要介護認定が4または5の方で65歳以上の方 ・ 在宅で、理容店へ出向くのが困難な方	【事業内容】 ・ 自宅へ訪問して散髪サービスを提供 ・ 利用限度：年 2 回まで ・ 費用：500円/回 【対象要介護高齢者】以下に両方該当する方 ・ 65歳以上で居宅において生活し、介護保険要介護認定が4または5で常時臥床状態の方
（R5年度）利用者数延べ73名 （R4年度）利用者数延べ102名	（R5年度）・利用券支給者　23人 ・発行枚数　46枚（2枚/人）・サービス利用数　27枚	（R 5 年度）利用者数 4 名	（R5年度）利用者数0 名 （R4年度）利用者数 1 名

本 庄 市		熊 谷 市	
4. 高齢者入浴料助成事業		健康入浴事業	
【事業内容】 ・市内の余熱利用施設「湯かっこ」の入浴券を助成 ・1か月当たり5回分　・費用：無料 【対象要介護高齢者】次のいずれにも該当する方 ・入浴設備（浴室またはシャワー室）がない又は故障により使用できない住居に住んでいる方 ・申請の日において65歳以上であり市県民税非課税世帯に属している方	・児玉地域にあった施設が閉館してしまい、現在利用施設が本庄地域の「湯かっこ」1カ所のみ。 ・他の利用施設の検討も含め事業内容等について検討が必要であると考えます。	【事業内容】 ・公衆浴場（市内の桜湯）の入浴料金の一部を助成する入浴券を交付 ・費用：自己負担額100円　77歳以上は無料 ・交付枚数：自宅に入浴設備がある方 月1枚 自宅に入浴設備がない方 月4枚 【対象要介護高齢者】 ・65歳以上の方	【対象事業なし】
(R5年度) 10人　384延べ件数 (R4年度) 15人　638延べ件数 (R3年度) 17人　769延べ件数		(R5年度) 4,363　延べ件数	
行 田 市		加 須 市	
	秩 父 市 敬老入浴事業		羽 生 市
【対象事業なし】	【事業内容】 ・入浴券を交付　一律年度12枚/人（市内2カ所） 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有する65歳以上の方	【対象事業なし】	【対象事業なし】
	(R5年度) 延べ利用者数　3,194人 (R4年度) 延べ利用者数　3,148人		
鴻 巣 市		美 里 町	
	上 里 町		神 川 町
【対象事業なし】	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【対象事業なし】

本 庄 市	懸案事項	熊 谷 市	深 谷 市
5. 緊急通報システム事業		あんしんコール事業	緊急通報システム
【事業内容】 ・緊急通報システムを対象者の住宅の固定電話に設置 ・急病や事故等の理由で緊急に他者の援助が必要となったとき、緊急ボタンを押すとオペレーターにつながります ・毎月1回電話による安否確認を実施 ・費用：電話料金や付属のペンダント等を紛失した場合の機器料金は利用者負担。市民税所得割課税世帯は、システム機器利用料の1割（月額203円）を負担 【対象要介護高齢者】 ・おおむね65歳以上の単身高齢者で、身体上慢性的な疾患等により日常生活を営む上で常時注意を要する方	・ひとり暮らしの高齢者や日中独居者のシステム利用希望者は多いものの、市の設置基準に該当し、設置出来るケースは少ない。 ・設置する際に親族等の緊急連絡先がないなどのケースもあり、長期入院時や死亡により解約時に機器を回収出来ないケースも考えられるため、取扱等の検討が必要です。 ・ひとり暮らしの見守りサービスについて、緊急通報システム以外のサービスも検討したいと考えます。	【事業内容】 ・ひとり暮らし高齢者や身体障害者の方の緊急事態に迅速に対応し、その他にも健康相談や見守り活動を行う機器装置（携帯型ボタン・本体）を対象者の住宅の固定電話に設置 ・費用：無料（固定電話回線が必用） ・通信料等、システムに係る電気代は自己負担 ・合鍵預かり 【対象要介護高齢者】 慢性的な疾患等により常時注意が必要な以下に該当する方 ・65歳以上で、ひとり暮らし、または寝たきり状態の方 ・ひとり暮らしの重度身体障害者	【事業内容】 ・急な体調不良の際に、事前に設置した通報装置や無線ペンダントを押すとガードマンがかけつけ、迅速に救護活動につながります。 ・費用：対象者②③④については利用者負担あり 【対象要介護高齢者】次の要件1及び2を満たす方 1 65歳以上または身体障害者手帳1～3級を受けており、かつ、慢性的な病気等で常時注意が必要な方 2 ①ひとり暮らしの方 ②同一敷地内に親族が居住しているひとり暮らしの方 ③同居している親族が就労、就学のため日中不在となる方 ④同居している親族が65歳以上で慢性的な病気等があり、常時注意が必要な方
(R5年度) 24人 317延べ利用件数 (R4年度) 29人 371延べ利用件数 (R3年度) 29人 364延べ利用件数		(R5年度) 新規登録 42台 設置累計 315台	
行 田 市	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
在宅高齢者緊急通報システムサービス	緊急通報システム事業	緊急通報システム整備事業	緊急通報システム事業
【事業内容】 ・急病・事故等による緊急時に速やかに救助を受けられるように、自宅に緊急通報システム装置（固定型又は携帯型）を設置 ・費用： 市民税課税世帯 固定型400円 携帯型1800円（税別） 市民税非課税世帯 固定型40円 携帯型1440円（税別） 【対象要介護高齢者】次のいずれかに該当する方 ・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・65歳以上のねたきり高齢者を抱える高齢者のみの世帯	【事業内容】 ・緊急時に無線発信器を押すだけで消防署に通報する緊急通報装置を設置 【対象要介護高齢者】 ・同一建物内に通報できる親族が同居しておらず、身体上の慢性的な疾患等により日常生活を営む上で常時注意を要する概ね65歳以上の高齢者又は重度障害者（無料） ・身体的に緊急を要する持病等はないが、ひとり暮らし（昼間、夜間のみ1人になる方を含む）で不安を抱えている高齢者（有料）	【事業内容】 ・緊急時にボタンを押すことで、コールセンターを通じて救急車両を呼ぶことができる緊急通報システム用機器の無料貸与を実施 【対象要介護高齢者】 以下の①から③の全てにあてはまるおおむね65歳以上の市民 ①次のいずれかに該当する方 ア ひとり暮らしの高齢者 イ ねたきりの高齢者を介護する高齢者のみの世帯の方 ウ 身体障がい者世帯の方 エ 同居している者の就労等により、おおむね1日8時間以上かつ週5日以上、ア～ウに準ずる状態にある方 ②慢性的な疾患などのため、常時注意を要する状態にある方 ③自宅に固定電話がある方	【事業内容】 ・自宅からボタンひとつで受信センターに通報され、看護師による相談及び救急要請できる「緊急通報システム」を設置 ・設置料 5,000円（生活保護受給者は0円） ・使用料 自己負担（実通話料等） 【対象要介護高齢者】 ・1人暮らし等の高齢者で身体上慢性疾患等により常時注意を要する方
(R5年度) 新規登録30人 (R5.12) 設置累計365人 (R5.12) (R4年度) 新規登録37人 設置累計363人	(R5年度) 380台 (R4年度) 373台	(R5年度) 134 台 (R4年度) 132台	(R5年度) 新規登録 31台 設置累計 196台 (R4年度) 新規登録 40台 設置累計 210台
鴻 巣 市	上 里 町	美 里 町	神 川 町
高齢者あんしんみまもりサービス	緊急通報システム事業	緊急通報システム事業	緊急通報システム事業
【事業内容】 ・市の委託業者が行う指定の見守りサービスを利用した際の利用料の全部又は一部を市が負担（IoT電球等による見守り、定期的な訪問・電話での見守り、緊急通報 機器の設置のサービス）いずれかを1つ選択 ・補助金：上限月2,000円（税込み） ※上限額を超える利用量・通信料・電気料金等は利用者負担 【対象要介護高齢者】 ・次のいずれかに該当する方で、いずれも同一敷地内または同一建物内に居住する65歳未満の親族等がない方が対象 ・65歳以上の在宅のひとり暮らしの方 ・65歳以上の方のみで構成されている世帯に属する在宅の方であって、日常生活に不安のある方	【事業内容】 ・緊急時にボタンを押すことで、コールセンターを通じて救急車両を呼ぶことができる緊急通報システム機器の無料貸与を実施 【対象要介護高齢者】 町内に住所を有し、以下の①から③の全てにあてはまる方。 ①次のいずれかに該当する方 ア 65歳以上のひとり暮らしの高齢者 イ ねたきりの高齢者を介護する65歳以上の高齢者のみの世帯の方 ウ ひとり暮らしの重度身体障がい者 ②慢性的な疾患などのため、常時注意を要する状態にある方 ③自宅に固定電話がある方	【事業内容】 ・急病などにより救急活動や相談等を必要とするとき、自宅内に設置された通報装置を利用することにより、速やかに救急活動および援助が受けられます 【対象要介護高齢者】以下の両方に該当する方 ・在宅で65歳以上のみの世帯 ・身体上慢性的な疾患等により、日常生活を営む上で常時注意を必要とし、緊急時の通報が困難な方	【事業内容】 ・身体の具合が悪い時や発作などの緊急時に、緊急ボタンを押すと緊急通報センターにつながり救急車の手配などをします。また、緊急通報センターから電話により月に1回「お元気ですか?」の安否確認を実施 ・費用 機器の設置費や使用料は無料 【対象要介護高齢者】 ・次のいずれかに該当する方。ただし、同一敷地又は隣接敷地に緊急時に適切な対応が可能と認められる親族のいる方や社会福祉施設に居住する方は対象外 ・65歳以上のひとり暮らしの方 ・常時臥床状態の方と65歳以上の方とで構成される世帯の方 ・重度障害者と65歳以上の方とで構成される世帯の方 ・緊急時に適切な対応が困難と認められる方と65歳以上の方とで構成される世帯の方
345人（R6.4.1時点利用中）	R5年度利用者数：13人（うちR5新規1人）	(R5年度) 51台	(R5年度) 55台

本 庄 市	懸案事項	熊 谷 市	深 谷 市
6．徘徊高齢者探知事業		徘徊高齢者探索サービス事業	徘徊高齢者探索サービス（大里広域市町村圏組合要綱）徘徊者探索システム（深谷市要綱）
【事業内容】 ・徘徊行動のある認知症高齢者が居場所が不明になったとき、家族等が電話又はインターネットで位置確認の問い合わせをすることが出来る携帯用端末の貸与を実施 ・初期費用以外の基本料金等は利用者負担 ・家族等が出向けない場合には、現場急行サービスを受けることが可能 ・費用：基本月額料金 1,320円/月 現場急行サービス 11,000円/1回 ほか 【対象要介護高齢者】 ・おおむね65歳以上の在宅の認知症高齢者	・所持してもらう機器が縦8.4cm×横4.6cm×厚さ1.6cm、重さ67 g という大きさのため、対象者が持って出ない可能性も考えられます。 高機能ではあるが、充電やボタン操作などの扱いが高齢者には難しい面もあります。 ・徘徊高齢者等見守り事業のシールと共に、必要な方や御家族に利用してもらえるように周知を行う必要があります。	【事業内容】 ・認知症により徘徊行動のある方に常時GPS端末を所持してもらい、行方不明時にご家族からの依頼で現在位置を探索してお知らせするサービスを提供 ・家族等が出向けない場合には、現地急行と保護の依頼も可能 ・費用：基本月額料金 1,320円/月 電話位置情報照会手数料 200円/1回 ※2 バッテリー交換代金 2,310円 ※2 現地急行サービス 11,000円/1回 ※2 ほか ※1 介護保険者である大里広域市町村圏組合の予算で実施。 ※2 利用者負担 【対象要介護高齢者】 ・65歳以上の在宅の認知症高齢者	【事業内容】 ・徘徊行動のある対象者がGPS端末機を常時所持することにより、その者の位置情報がインターネット検索、または警備会社への電話連絡で確認できる。また家族等が出向けない場合には、現地急行と保護の依頼も可能 ・費用：バッテリー交換代金 2,310円 【対象要介護高齢者】 ・在宅で徘徊行動があり、外出時に家に帰ることができない次のいずれかに該当する方 ・65歳以上の方（大里広域市町村圏組合要綱） ・要介護認定のある40歳～64歳の方（深谷市要綱） ・知的障碍児・者（深谷市要綱）
（R5年度）1人 （R4年度）2人 （R3年度）5人		（R5年度） 新規申込件数 3件 （R4年度） 新規申込件数 9件	
行 田 市	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
徘徊高齢者等位置探索サービス	徘徊高齢者探知事業	行方不明高齢者等早期発見支援事業 位置探索サービス	徘徊高齢者等位置探索サービス事業
【事業内容】 ・徘徊高齢者等の位置情報を探索出来る端末機器を貸与 ・費用：加入料金、付属品代金について市が負担 基本料金月額1,320円、位置情報提供料、バッテリー交換代金等は自己負担 【対象要介護高齢者】 ・介護保険法に規定する要介護および要支援に認定されている、おおむね65歳以上の徘徊高齢者	【事業内容】 ・徘徊高齢者等の位置情報を探索出来る端末機器を貸与 ・現地急行サービスの利用 ・費用：基本料金自己負担 機器等の修繕、再取得等は自己負担 ・現地急行サービスを利用した際の手数料の100分の50は本人負担 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有する徘徊行動のあるおおむね65歳以上の在宅の認知症高齢者	【事業内容】 ・徘徊高齢者等の位置情報を探索出来る端末機器を探索端末機器の利用に係る費用の一部助成（加入料金：1人あたり4,950円・付属品代金：1セット2,750円） 【対象要介護高齢者】 ・要介護認定で要支援・要介護と認定されており、認知症等により行方不明となるおそれのある方	【事業内容】 ・在宅の徘徊高齢者等及びその介護者等に、徘徊高齢者等の所在が不明になった場合に現在位置を探索するための端末機器を貸与 ・費用：基本料金 月額1,320円 ※他に位置探索情報提供料が必要 【対象要介護高齢者】 ・介護保険法に規定する要介護および要支援に認定されている方
（R5年度） 3人 新規申込件数 0件（R5.12） （R4年度） 4人 新規申込件数 0件	（R5年度） 0人（R5.11） （R4年度） 0人	（R5年度） 10人 （R4年度） 11人	（R5年度） 1人 新規申込件数 0件 （R4年度） 1人 新規申込件数 1件
鴻 巣 市	上 里 町	美 里 町	神 川 町
徘徊高齢者等探索サービス利用助成事業	徘徊高齢者家族支援サービス事業	徘徊高齢者等探索システム	
【事業内容】 ・対象要介護高齢者を在宅で介護する方に対し、協定事業者が行う指定の探索サービスの加入料金及び月額の基本料金を助成 ・加入料金及び月額基本料金以外の全ての費用は自己負担 【対象要介護高齢者】次のいずれかに該当する方 ・65歳以上で認知症による徘徊行動がある方 ・40歳以上で若年性認知症の方でサービスが必要と認められる方 ・40歳以上で高次脳機能障害およびその他認知機能低下をきたす疾患を有する方でサービスが必要と認められる方	【事業内容】 ・GPSを活用して徘徊行動で所在不明になった高齢者を発見し、家族等へ現在地をお知らせするシステムにかかる初期費用（10,000円＋消費税）を助成 ・費用：基本料金 月額3,100円＋消費税 専用靴を購入する場合は別途靴の購入費 亡失・既存した場合は17,850円＋消費税 【対象要介護高齢者】 ・介護保険法に規定する要介護認定で、要介護または要支援と認められた認知症高齢者で徘徊が見られる方	【事業内容】 ・徘徊行動のある高齢者に専用の機器を持たせることにより、現在位置を即座に探知できるシステムを提供 ・費用：月額540円 【対象要介護高齢者】 ・徘徊行動のある65歳以上の認知症高齢者	【対象事業なし】
（R5年度） 継続者9人 新規9人 （R4年度） 継続者3人 新規1人	（R5利用者）1人 （R4利用者）0人		

本 庄 市		熊 谷 市	
7. 徘徊高齢者等見守り事業		あんしん見守りシール交付事業	
【事業内容】 ・徘徊行動のある認知症高齢者を早期発見するための二次元コード付きシールを交付 ・発見者が二次元コードを携帯等で読み取ることで専用伝言板を介して保護者とのやりとりが可能 ・耐洗ラベル30枚　蓄光シール10枚　　費用：初回無料 【対象要介護高齢者】 認知症による徘徊行動が見られる以下のいずれかに該当する方 ・介護保険で要介護者または要支援者に認定されている方 ・医師により認知症と診断された方		【事業内容】 ・認知症により徘徊行動がある方の持ち物（靴、シルバー杖など）に貼れる反射素材でできた「あんしん見守りシール」を配布 ・徘徊高齢者を発見した方がQRコードを読み込み市役所または警察に連絡してもらうことで徘徊高齢者の早期発見と、保護された方のスムーズな身元確認が可能 ・1人につき1シート　18枚 【対象要介護高齢者】 認知症による徘徊行動が見られる以下のいずれかに該当する方 ・介護保険で要介護者または要支援者に認定されているかたで徘徊のおそれがある方 ・医師により認知症と診断された方	
(R5年度) 延べ利用者8人 (R4年度) 延べ利用者13人 (R3年度) 延べ利用者11人		(R5年度)　新規申込件数　6件 (R4年度)　新規申込件数　1件	
行 田 市		秩 父 市	
徘徊高齢者等発見シールの配布		認知症高齢者等見守りシール交付事業	
【事業内容】 ・靴やサンダル・杖などの持ち物等に貼る反射シールの配布		【事業内容】　R4.12～ ・見守りシールの交付 ・行方不明となった高齢者等を発見した人がQRコードが印字された見守りシールを読み取るとインターネット上の伝言板を介して保護者とやり取りを行うことが出来ます 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有し在宅で生活をする者であって、次のいずれかに該当する者 ・医師により認知症と診断された者 ・認知症状等による徘徊行動がみられる者 ・申請時において秩父市徘徊高齢者等探索システム事業を利用していない者	
(R5年度) 17人（R5.12） (R4年度) 17		(R5年度) 3人 (R4年度) 4人	
鴻 巣 市		上 里 町	
ひとり歩き高齢者みまもりグッズ配布事業		①高齢者等見守りキーホルダー　②徘徊高齢者等SOSネットワーク（登録）事業	
【事業内容】 ・登録者が道に迷い、行方不明になった際の早期発見や、保護された際の速やかな身元特定に役立つグッズを配布 ・費用：無料 ・配布内容：蛍光ステッカー10枚・アイロンプリントシール5枚・キーホルダー1個 【対象要介護高齢者】 ・介護保険被保険者で、認知症などにより、道に迷う可能性のある方		【①事業内容】 ・高齢者の方が外出先で突然倒れたり、徘徊等により保護され連絡先等が確認できない場合に、速やかに身元や緊急連絡先を確認できるキーホルダーを交付 ・徘徊の恐れがある方にはアイロンシールも交付 ・費用：無料 【対象要介護高齢者】 町内に住所を有する65歳以上で、次の要件に該当する方 ・認知症による症状がある方 ・急な発作のおそれ、あるいは身体上の慢性疾患があり、日常生活上注意が必要な方 ・高齢者世帯の方・日中独居の方 【②サービス内容】 ・徘徊により所在不明になった時に、同意を得ている範囲で関係機関等に情報提供し、早期発見につなげます 【対象要介護高齢者】 ・65歳以上の認知症高齢者及び若年性認知症と判断された方 ・65歳以上で徘徊により所在不明になるおそれのある方	
R6.6.21時点　78人登録		(R5年度) 新規登録者数　24人 (R4年度) 新規登録者数　1人	
深 谷 市		羽 生 市	
おでかけ見守りシール		徘徊高齢者等ステッカー交付事業	
【事業内容】 ・洋服や靴、バックなどさまざまな素材のものに貼り付ける事が出来る、おでかけ見守りシールを交付 ・費用：無料 【対象要介護高齢者】 ・介護保険で要介護者または要支援者に認定されている方で徘徊の症状がある方 ・認知症と診断された方		【事業内容】 ・認知症等により徘徊行動がみられる高齢者等に対して、反射板付きステッカーを交付し、消防や警察と情報を共有することで、本人の生活の安全を確保するとともに家族の精神的負担の軽減を図ります。 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有し、在宅で生活をしているおおむね65歳以上の徘徊高齢者など	
(R5年度) 新規申込件数　6件 (R4年度) 新規申込件数　1件		(R5年度) 新規申込件数　12件 (R4年度) 新規申込件数　9件	
加 須 市		美 里 町	
行方不明高齢者等早期発見支援事業 早期発見ステッカー配布		認知症高齢者等見守りシール交付事業	
【事業内容】 ・認知症や認知機能が低下した状態にある高齢者等が認知症等により行方不明となった場合の早期発見に役立てるため、その方の履物に貼る「番号入りのステッカー」の配布 【対象要介護高齢者】 ・要介護等の認定を受けていて、一定程度以上の認知症等の症状が認められる方 ・おおむね65歳以上の方のうち、認知症等により行方不明となるおそれのある方 ・その他市長が特に認めた方		【事業内容】 ・認知症高齢者等が徘徊した際の早期発見を目的に、QRコードが印刷された見守りシールを交付 【対象要介護高齢者】 ・介護保険の被保険者で認知症等により徘徊症状がみられる方等	
(R5年度) 28人（配布累計107人） (R4年度) 18人		(R5年度) 利用者2名	

本 庄 市	懸案事項	熊 谷 市	深 谷 市
8. 福祉電話設置事業			
【事業内容】 ・固定電話の設置 ・費用：基本料無料 通話料は利用者負担 【対象要介護高齢者】 ・おおむね65歳以上の低所得者及び外出困難な在宅重度身体障害者のうち、通話可能な電話を持たない方で次のいずれかに該当する方 ・常時ひとり暮らしの高齢者で、継続して安否確認を必要とする方 ・外出の困難な在宅重度身体障害者又は高齢者世帯で、緊急連絡等を必要とする方	・マイナンバーの普及など、現在はスマートフォンが通話手段の主流となっている。固定電話（黒電話）の設置の必要性について、検討をする必要があると考えます。	※事業としては廃止しているが、継続利用者がいます。	【対象事業なし】
(R5年度) 2人 (R4年度) 3人 (R3年度) 4人		(令和 5 年度) 継続 1 台	
行 田 市	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
福祉電話			
※事業としては廃止しているが、継続利用者がいます。	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【対象事業なし】
(R5年度) 5 台 (R5.12) (R4年度) 5 台			
鴻 巣 市	上 里 町	美 里 町	神 川 町
日常生活用具給付等事業【老人福祉電話】			
令和6年から 継続の人のみ対応 新規受付停止 【サービス内容】 ・電話加入権を貸与 ・費用：電話機器、基本料金及び通話料は利用者負担 【対象要介護高齢者】 ・おおむね65歳以上の電話がないひとり暮らし高齢者等で前年度分所得税非課税である方 ・介護保険料を滞納していない方	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【対象事業なし】
令和5年度継続者4名			

本 庄 市		熊 谷 市	
9. 家族介護慰労金支給事業		深 谷 市	
【事業内容】 ・日常生活に著しい支障のあるねたきりの高齢者及び重度の認知症高齢者を介護している家族に、1世帯につき10万円の慰労金を支給 【対象要介護高齢者】 次の全ての要件に該当する方を介護している市民税非課税の世帯 ・介護保険で要介護4・5に認定されてから1年以上経過している方 ・過去1年間、介護保険法に基づく介護サービスを受けていない方（年間1週間程度のショートステイの利用を除く） ・過去1年間、病院または診療所に1ヶ月以上継続して入院していない方		【対象事業なし】	
(R5年度) 1件 (R4年度) 0件 (R3年度) 1件			
行 田 市		加 須 市	
秩 父 市		羽 生 市	
		ねたきり老人等居宅介護者慰労金支給事業	
【対象事業なし】		【事業内容】 ・在宅で介護している市内在住の家族等に帯して、慰労金を月5,000円支給 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所があり、介護保険の要介護4・5に認定されている65歳以上の高齢者と収入及び生活費等を一にしており、在宅で介護している家族の方（施設に入所している方、3ヶ月以上継続して入院している方を除く）	
		【事業内容】 ・要介護4又は5と認定された後、その状態が6か月以上継続している方を在宅で介護している同居の家族等に月額5,000円の慰労金を支給 ・6月、10月、2月にそれぞれ4ヶ月分をまとめて支給 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有する方で、介護している同居の家族等に支給する。 ①要介護4又は5と認定された後6か月以上経過している方 ②施設に入所していないこと ③3か月以上継続して病院又は診療所に入院していないこと ④介護保険料を滞納してないこと ⑤在宅重度心身障がい者手当又は特別障害者手当を受給していないこと 【支給制限】 次のいずれかに該当する時は当該月の慰労金は支給しない ①被介護者が入院等で1か月に15日以上在宅で介護を受けなかったとき ②介護者が入院等で1か月に15日以上被介護者を在宅で介護をしなかったとき	
		(R5年度) 延べ2,218人 (R4年度) 延べ2,102人	
		(R5年度) 延べ620件 (R4年度) 延べ739件	
鴻 巣 市		美 里 町	
上 里 町		神 川 町	
		家族介護慰労金給付事業	
【対象事業なし】		【事業内容】 ・要介護4・5の認定を受けている町民税非課税世帯の在宅高齢者で過去1年間介護保険サービス（年間1週間程度のショートステイは除く）を受けなかった場合に、その高齢者を介護している家族に慰労金を支給 【対象要介護高齢者】 ・要介護4・5の認定を受けている在宅高齢者	

本庄市	懸案事項	熊谷市	深谷市
10. 高齢者生活支援短期入所事業（ショートステイ）		熊谷市高齢者ショートステイ運営事業	
【事業内容】 ・介護者が疾病等により一時的に家庭で介護することが困難になり、家庭で生活できない高齢者を施設で預かり日常生活のお世話を実施 ・期間：原則7日以内 ・費用：1日あたり施設利用料の1割（726円） ※高齢者の状況によって異なる場合あり 【対象要介護高齢者】 ・おおむね65歳以上の介護保険の支給対象となることができない高齢者で、日常生活を営むのに支障のある方	・必要な方に利用していただけるように事業周知が必要と考えます。	【事業内容】 ・身体上または精神上に障害があり日常生活を営むのに支障がある要援護高齢者に対し、市が契約する養護老人ホームまたは特別養護老人ホームに一時的に入所させる。 【対象】 ・市内に住所を有し居住実態がある65歳以上の高齢者で、介護保険法に定めるショートステイ等、この事業に代わるサービスの利用ができず、この事業を利用しないと生命に危機が生じる恐れがあると市長が認めたもの。	【対象事業なし】
（R5年度）0人（R4年度）1人（R3年度）1人		直近5年の実績なし	
行田市	秩父市	加須市	羽生市
	ショートステイ事業	生活管理指導短期入所事業	生活管理指導短期宿泊事業
【対象事業なし】	【事業内容】 ・7日以内の老人ホームへの入所措置を実施 ・費用：1日あたり2,000円 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有し、対人関係が成立しないなど社会適応が困難な在宅の概ね65歳以上の介護保険の支給対象となることができない高齢者	【事業内容】 ・病気や出産、冠婚葬祭等の理由により、家族による日常生活の支援を受けられない場合に、養護老人ホーム等に一時的に宿泊し、日常生活に関する支援を実施 【対象要介護高齢者】 ・要介護認定を受けていない高齢者で、一時的に施設で養護する必要がある方	【事業内容】 ・基本的生活習慣に欠けるひとり暮らし高齢者に対して、老人福祉施設での短期間宿泊を通じて、生活習慣等の指導及び支援を実施 ・介護老人福祉施設 1日640円 ・養護老人ホーム 1日480円 【対象要介護高齢者】 （1） 一人暮らし又は高齢者のみの世帯の者であって、身体上の障がい、精神上の障がいその他特別な事情により在宅での生活が困難であるため、基本的生活習慣等の指導等又は一時的な保護を必要とするもの （2） 高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（平成17年法律第124号）第2条第4項に規定する養護者による高齢者虐待を受け、又は受けるおそれがあるため、一時的な保護を必要とする者
	（R5年度）0人 （R4年度）2人	（R5）実人数 8人（延べ14人） 総計88日 （R4）実人数12人（延べ26人） 総計151日 （R3）実人数 9人（延べ15人） 総計148日	（R5年度）延べ17人、延べ832日 （R4年度）延べ11人、延べ598日
鴻巣市	上里町	美里町	神川町
在宅高齢者緊急時短期入所サービス事業			
【事業内容】 ・要支援状態又は要介護状態の高齢者が養護する者からの虐待等緊急な理由により在宅で介護を受けることが困難となった場合、介護老人福祉施設に短期入所し、継続した生活を送れるよう支援をする。 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有するおおむね65歳以上の者で、次のいずれかに該当するもの （1）養護者からの虐待を受けている （2）又養護者の負担軽減を図るため緊急的支援の必要があると認めるとき （3）養護者の都合により緊急かつ一時的に介護が受けられない状態にあるとき	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【対象事業なし】
【実績】（R5年度） 0人 （R4年度） 0人 （R3年度） 1人			

本 庄 市	懸案事項	熊 谷 市	深 谷 市
1 1．要介護高齢者ふとん乾燥等事業		ふとん乾燥サービス等事業	寝具洗濯乾燥消毒サービス
（R6年度再開予定） 【サービス内容】 ・ふとんの乾燥消毒及び丸洗いのサービスを提供 ・利用回数は同一年度内 2 回まで ・費用：無料 【対象要介護高齢者】 ・市内に住所を有する要介護4・5で寝たきりの状態の高齢者 ・世帯全員が市民税非課税の世帯	・事業を実施している業者が少なく、委託業者の選考が難しい。 ・令和6年度に再開するにあたり、過去の利用者も少ないことから、事業周知が必要と考えます。	【事業内容】 ・ふとん乾燥事業者が自宅へ訪問し、ふとん乾燥サービスを実施 ・年12回（月1回ずつ） ・費用：無料（乾燥機器の使用に係る電気代は自己負担） 【対象要介護高齢者】 ・65歳以上の方で、ひとり暮らし、または寝たきり状態の方	【事業内容】 ・自宅へ布団を集配し、丸洗いや乾燥消毒を行う ・年 4 回まで ・費用：1割負担（丸洗い680円、乾燥消毒300円） 【対象要介護高齢者】 在宅で、寝たきり高齢者等の以下の方 ・75歳以上のひとり暮らしの方 ・75歳以上の高齢者世帯 ・身体障害者手帳（肢体不自由）1級または2級 ・要介護4または5
（R1年度） 2人		（R5年度） 34人 （R4年度） 33人	
行 田 市	秩 父 市	加 須 市	羽 生 市
寝具の乾燥及び丸洗いサービス			寝具洗濯乾燥等サービス事業
【事業内容】 ・寝具の乾燥及び丸洗いサービスを実施 （乾燥）年 4 回（5月、8月、11月、2月） マットレス・敷き布団・毛布・掛け布団各一枚およびまくら 1 個の乾燥 （丸洗い）希望に応じて、乾燥実施月に年 1 回を限度で丸洗いに変更可能、敷き布団・掛け布団・毛布 1 枚の丸洗い ・費用：乾 燥：市県民税非課税者150円/回 課税者300円/回 丸洗い：市県民税非課税者250円/回 課税者500円/回 【対象要介護高齢者】 ・市内に住居及び住民票がある施設に入所等をしていない方で、次のいずれかに該当する方 ・75歳以上のひとり暮らし高齢者 ・要介護4または5の認定を受けた状態が3ヶ月以上継続している方	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【事業内容】 ・寝具の乾燥及び丸洗いサービスを実施 （乾燥）月1回まで 240円/回 （洗濯）年2回まで 600円/回 【対象要介護高齢者】 ・寝具の衛生管理が困難な世帯（1人又は家族）でひとり暮らしの高齢者等又は要介護4または5の要介護認定を受けた方
（R5年度） 12人（R5.12） （R4年度） 9 人			（R5年度） 5人 （R4年度） 3人
鴻 巣 市	上 里 町	美 里 町	神 川 町
重度要介護高齢者等寝具乾燥消毒等事業			
【事業内容】 ・市から委託を受けた民間事業者が家庭を巡回して、寝具をお預かりし、乾燥消毒や丸洗いを実施 ・実施内容：（乾燥）年10回 （洗濯）年2回 （マットレス・敷き布団・掛け布団・毛布・枕） ・費用：無料 【対象要介護高齢者】 ・65歳以上の在宅かつ介護保険料を滞納していない方で、次の要件を満たす方 ・要介護4・5の方 ・ひとり暮らしで実態調査の結果サービスの提供が必要な方	【対象事業なし】	【対象事業なし】	【対象事業なし】
（R5年度） 延べ196人 （R4年度） 延べ235人			

本 庄 市		熊 谷 市	
1 2．高齢者住宅整備資金融資事業		高齢者及び障害者住宅整備資金貸付事業	
【事業内容】 ・高齢者の居住環境改善のため、専用居室等を増改築又は改造するために必要な資金の融資を行う ・増改築又は改造の範囲：高齢者の専用居室、風呂場、便所等 ・返済方法：元金均等月賦償還。償還期間 1 0 年以内。据置期間は 6 ケ月以内 ・貸付金　300万円以下金利 3 %を超えた部分を補助 【貸し付け条件】 ・親族である60歳以上の方と同居又は、同居しようとしている市内在住の60歳未満の方で市税完納要件を満たしており、高齢者の専用居室等を真に必要としているが自力で資金調達できない方 ※埼玉りそな銀行と協定を結び、融資事務を委託し、焦げ付きに対する補償分として、毎年、融資枠の20%をりそな銀行へ預託		【事業内容】 ・高齢者や障害者が専用の居室や居住環境の改善により、安全な生活が送れるように、増築、改築または改造する場合に必要な資金の貸し付けを行う ・返済方法：10年以内元金均等月賦償還方法 ・貸付金：200万円まで　無利子 【貸し付け条件】 ・本市に住所を有し、引き続き1年以上住所を有すること ・親族である高齢者及び障害者と同居し、もしくは同居しようとする方、または高齢者及び障害者であること ・住宅の整備を真に必要とし、かつ、自らの資金では住宅の整備を行うことが困難であること ・市税を滞納していないこと ・確実に貸付資金を返済できると認められること ・貸付資金の返済について確実な連帯保証人が2人以上あること	
近年利用者実績なし		近年利用者実績なし	
行 田 市		加 須 市	
		高齢者住宅改修費助成事業	
【対象事業なし】		【事業内容】 ・転倒防止等のリスクを低減するため、住宅のバリアフリー改修に係る費用を助成 ・助成額：経費の3分の2の額　上限10万円 ・対象工事：手すりの取り付け、段差の解消など 【対象者】 ・介護保険の要介護等認定において非該当となった方のうち、転倒等のリスクが高いと認められる方、認定を受けていない65歳以上の方（国が示した基本チェックリストの運動機能を評価する5項目のうち、3項目以上に該当する方）	
		(R6年度開始事業)	
鴻 巣 市		美 里 町	
【対象事業なし】		【対象事業なし】	

本 庄 市		熊 谷 市	
1 3．敬老祝金給付事業		敬老祝金給付事業	
【事業内容】 ・ 8 月 1 日現在本庄市に在住者の該当者にお祝い金を贈呈する ・ 77歳 1 万円 ・ 88歳 2 万円 ・ 99歳以上 3 万円		【事業内容】 ・ 9月 1 日において市内に住所を有する該当者にお祝い金を贈呈 ・ 77歳 1 万円分の「まち元気」熊谷市商品券 ・ 88歳 2 万円分の「まち元気」熊谷市商品券 ・ 99歳 3 万円分の「まち元気」熊谷市商品券 ※R6年度より熊谷市地域電子マネー「クマPAY」へ変更	
(R5年度) 77歳/784人 88歳/391人 99歳以上/82人 (R4年度) 77歳/710人 88歳/390人 99歳以上/90人 (R3年度) 77歳/918人 88歳/366人 99歳以上/90人			
行 田 市		加 須 市	
敬老祝金支給		敬老祝金支給事業	
【事業内容】 ・ 敬老と長寿のお祝いとして祝金（市内共通商品券）を支給 ・ 77歳 1 万円分 ・ 88歳 2 万円分 ・ 99歳以上 3 万円分		【事業内容】 ・ 8 月 1 日現在、市に 1 年以上住所がある該当者にお祝い金を贈呈する ・ 77歳 1 万円分ちょこっとおたすけ絆サポート券 ・ 88歳 3 万円分ちょこっとおたすけ絆サポート券 ・ 99歳 5 万円分ちょこっとおたすけ絆サポート券 ・ 100歳 5万円分ちょこっとおたすけ絆サポート券 ※R5から77歳を20,000円から10,000円へ変更	
(R5年度) 874人・412人・35人 (R4年度) 850人・352人・35人		(R5年度) 満77歳 1,613人 満88歳 609人 満99歳 61人 満100歳 42人	
鴻 巣 市		美 里 町	
敬老祝金支給事業		敬老祝金給付事業・百歳特別祝金支給事務	
【事業内容】 ・ 9 月 1 日（ただし、満100歳に達する日を迎える者については当該日）において、市内に引き続き 3 年以上住民登録をしている方 ・ 77歳 7千円 ・ 88歳 1万5千円 ・ 99歳 2万円 ・ 100歳 3万円 ・ 慰労金 100歳を迎える者と 1 年以上前から引き続き同居している家族へ5万円		【事業内容】 9月 15日を基準として1年以上住民登録をしている方にお祝い金を支給 ・ 77歳 1万円 ・ 88歳 2 万円 ・ 99歳 3 万円 ・ 金婚 1 万円 ・ ダイヤモンド婚 2 万円 ・ 満100歳のお祝いとして、特別祝金を支給 祝金支給額 5 万円	
(R5年度) 77歳/1687人 88歳/661人 99歳/45人 100歳/37人 長寿者家族慰労金/12人		(R5年度) 77歳/170人 88歳/86人 99歳/11人 金婚/41組 ダイヤモンド婚/11組敬老祝金 百歳特別祝金 4人	
秩 父 市		羽 生 市	
敬老祝金の支給		敬老祝金の支給	
【事業内容】 ・ 9月 1 日を基準として1年以上住民登録をしている方にお祝い金を贈呈する ・ 77歳 1 万円 ・ 88歳 2 万円 ・ 99歳 3 万円 ※R4年度までは秩父市共通商品券であったが、R5年度から口座振込に変更		【事業内容】 ・ 9月1日現在、市に引き続き1年以上居住し、住民登録をしている該当年齢の方にお祝い金を贈呈 ・ 満77歳 5千円 ・ 満88歳 1 万円 ・ 満99歳 2 万円	
(R5年度) 77歳:771人、88歳:330人、99歳:31人 (R4年度) 77歳:418人、88歳:303人、99歳:18人		(R5年度) 77歳/789人 88歳/470人 99歳/42人 (R4年度) 77歳/513人 88歳/485人 99歳/29人	
神 川 町		深 谷 市	
敬老祝金給付事業・百歳到達者特別長寿祝金		高 齢 者 慶 祝 事 業	
【事業内容】 ・ 9月 15日を基準として1年以上住民登録をしている方にお祝い金を支給 ・ 77歳 5千円 ・ 88歳 2 万円 ・ 99歳以上 3 万円 ・ 満100歳のお祝いとして、特別長寿祝金を贈呈 ・ 祝金の額は、50,000円		【事業内容】 ・ 高齢者慶祝事業として、市内最高齢の男女のかた及び満百歳に達するかたの自宅または施設へ市長が訪問し、記念品を贈呈。 記念品についてはアレンジ花（5,000円）、商品券（市内最高齢者はJCBギフトカード10,000円、百歳はJCBギフトカード20,000円）及び祝状（百歳のみ）。 ・ 高齢者慶祝事業として、 9 月 1 日現在、深谷市住民基本台帳に記録されているかたで、 6 月 1 日から継続して市内に在住し、本年度中に満 8 8 歳、満 9 9 歳になるかた。 「バスタオル（慶祝文字入り）」（R4～R6年）（3年ごとに記念品を選定） ※ 9 月中に各地区民生・児童委員から贈呈。	
(R5年度) 77歳/165人 88歳/76人 99歳以上/14人 特別長寿祝い金 2人			

本 庄 市		熊 谷 市	
1 4．敬老助成事業		敬老助成事業	
新型コロナウイルス感染症の流行により、令和2年度、令和3年度、令和4年度につきましては、新型コロナウイルス感染防止の観点から敬老会 は中止 【平成31年度までの実施内容】 ・毎年9月下旬（9月の4日間）つきみ荘で敬老会を開催 ・対象者には自治会を通じて案内状を送付 ・市主催の敬老会に参加するのではなく、自治会主催で開催する場合には、その費用の一部自治会へ助成 （自治会開催の場合の助成額） 次の1、2の合算 地区割…1自治会につき5,000円以内 人数割…対象者1人につき1,000円以内 ・7月1日現在、市に在住のその年に75歳以上になる高齢者を招待し、式典、参加者による芸能発表、アトラクション等の鑑賞を実施		【事業内容】 ・自治会、公民館、地区の社会福祉協議会、施設等が主催者となって開催 ・敬老会の実施などに要する費用の一部として、補助金を交付 （自治会等地域が主催者の場合の助成額） 対象者1人につき1,300円 （施設が主催者の場合の助成額） 均等割…施設入所定員50人未満 30,000円、施設入所定員50人以上100人未満 35,000円、施設入所定員100人以上 40,000円 人数割…対象者1人につき650円 【対象者】 ・9月1日現在、市内に住所を有している75歳以上の方 ※施設が主催者の場合は、上記内容に加え、且つ主催施設に入所をしていること。	
		【事業内容】 ・高齢者の社会参加や地域住民との交流を図るため、地域での敬老会等の開催に対し、敬老事業補助金を交付。敬老会等の開催前に事前申請が必要。 ●交付対象者 (1)自治会(2)老人クラブ(3)ふれあい・いきいきサロン ●要件 (1)内容：9月から2月の間に自治会館等で開催される75歳以上のかたが参加される敬老会等 ※祝い品のみの配布は対象外 (2)場所：自治会館、集会所、公民館等 ●補助対象経費 ・飲食費等を含めた経費(その他補助金等を受けている場合、それを除く) 例：茶、弁当、祝い品、出演者謝礼等（酒類を除く） ●補助額 ・75歳以上参加者1人当たり800円（上限額）（昭和25年4月1日までに生まれたかた） 【対象者】 ・市内に住所を有している75歳以上の方	
行 田 市		加 須 市	
地区敬老会事業		敬老会助成事業	
【事業内容】 ・各地区自治会連合会の主催により、15地区それぞれの会場で開催 ・敬老会事業を開催する各地区自治会連合会に対し、対象者の人数に基準額を乗じた額を運営費として市から補助金を交付 【対象者】 ・9月15日までに75歳に達する方で、7月1日現在において市内に引き続き3か月以上居住し、本市に住所を有する方		【事業内容】 ・加須市社会福祉協議会・各16支部社協が共催で、地域の支部社協を中心に自治会・民児協のほかさまざまな団体等のご協力のもと、地域ごとに式典やアトラクションを開催 ・市は社会福祉協議会に対し補助金を交付している 【対象者】 ・市内にお住いの75歳以上の方 （対象年齢は4月2日～翌年4月1日生まれ）	
		【事業内容】 ・9月から10月にかけて、旧秩父市は市と町会、吉田・大滝・荒川地区は市と社協の共催で敬老会を実施 ・対象者1人あたり1,500円を交付し、各町会または各社協で開催 【対象者】 ・7月1日現在において市内にお住いの77歳以上の方（対象外施設は除く） ※令和2年度、3年度、4年度は集会形式での開催は中止し記念品のみを配布 令和5年度からは集会形式での開催または記念品のみの配布を各町会ごとに決定	
		対象者数（R5年度） 18,114人 （R4年度） 17,287人	
鴻 巣 市		美 里 町	
【対象事業なし】		【対象事業なし】	

本 庄 市		熊 谷 市	
1 5．敬老お祝い品引き換え事業		深 谷 市	
【事業内容】 ・市内の事業者からご提案いただいた敬老お祝いの品を贈呈 ・商品1,000円以上の品を事業者が提供、対象者が持参する引き換え券と交換 ・引き換え券 1 枚につき1,000円を市が事業者へ支払 【対象者】 ・市内に住民登録のある75歳以上の方		【事業内容】 ・自治会、公民館、高齢者福祉施設、地区の社会福祉協議会等が主催者となって各地区ごとに開催される敬老会の参加者で7 7 歳、 8 8 歳の方に寿状と記念品を贈呈している。記念品は令和 4 年度、令和 5 年度共にブランケットを贈呈していたが、令和 6 年度以降は贈答用タオルに見直す予定である。 ・ 9 月 1 日現在において、市内に住所を有し、当該年度において結婚後 5 0 年に達する夫婦に対し金婚記念品（夫婦茶碗）及び慶祝状を贈呈している。	
(R5年度) 対象者12,289人 引換者10,312人 協力事業者 35事業所 (R4年度) 対象者11,826人 引換者 9,769人 協力時業者 43事業所 (R3年度) 対象者11,168人 引換者9,372人 協力時業者 50事業所		R5喜寿記念品贈呈数2,416人、米寿記念品贈呈数1,030人、金婚贈呈数595組 R4喜寿記念品贈呈数1,650人、米寿記念品贈呈数946人、金婚贈呈数616組	
行 田 市		加 須 市	
		金婚等祝賀事業	
【対象事業なし】		【事業内容】 ・ 88歳、99歳の方に対して、敬老会式典時に、市長名でお祝い状と筒を贈呈している。 ・ 100歳の方に対して、対象者の誕生日前後に、市長名でお祝い状と額を贈呈している。	
		(R5年度) 88歳609人、99歳61人、100歳42人 (R4年度) 88歳540人、99歳58人、100歳35人	
鴻 巣 市		美 里 町	
鴻巣市祝敬老おもてなし協賛店			
【事業内容】 ・敬老の日に合わせて市内在住の 7 5 歳以上の方に対して店舗等において割引やポイントサービス等を実施していただける祝敬老おもてなし協賛店を募り、 8 月号広報と併せて店舗一覧を配布		【対象事業なし】	
		羽 生 市	
		満100歳の方及び毎年度最初に最高齢になる方に敬老のお祝い	
		【事業内容】 ・ 9月1日現在、市に引き続き1年以上居住し、住民登録をしている満100歳の方及び毎年度最初に最高齢になる方にお祝い品を贈呈	
		(R5年度) 2 0 名 (R4年度) 1 5 名	
上 里 町		神 川 町	
		敬老記念品事業	
		【事業内容】 ・ 町内の事業所からご提案いただいた敬老記念品を贈呈 ・ 商品1,000円以上の品を事業所が提供、対象者が持参する引き換え券と交換 ・ 引き換え券 1 枚につき1,000円を町が事業所へ支払 【対象者】 ・ 8月1日現在、町内に住民登録があり当該年度中に75歳以上になる方	
(R5年度) 75店舗		(R5年度) 対象者 2,274人 引換率 77.4％ 協力事業所 18事業所	

本 庄 市		熊 谷 市	
1 6．外国人高齢者福祉手当支給事業		外国人高齢者等福祉手当支給事業	
【事業内容】 ・支給額：外国人高齢者 5,000円/月 ・支給月：9月・3月の年2回 【対象者】次のいずれにも該当するもの ・本市に住民基本台帳に記録されていること ・法務大臣の永住許可を受けていること ・大正15年（1926年）4月1日以前の生まれであること ・国民年金その他の公的年金を受給していないこと		【事業内容】 ・支給額：外国人高齢者 13,000円/月、外国人障害者 30,000円/月 ・支給月：9月・3月の年2回 【対象者】 ・日本の国籍を有しない者で、外国人高齢者（昭和57年1月1日において日本に住所を有し、大正15年4月1日以前に出生したもの）または、外国人障害者（昭和57年1月1日において満20歳以上の身体障害者手帳1、2級又は療育手帳 ④、A の交付を受けていたもの）で次の全てに該当する方 ・本市の住民基本台帳に記録されていること ・本市に引き続き1年以上居住していること ・法務大臣の永住許可を受けていること ・国民年金その他の公的年金を受給していないこと	
近年利用者実績なし			
行 田 市		秩 父 市	
【対象事業なし】		【対象事業なし】	
鴻 巣 市		美 里 町	
【対象事業なし】		【対象事業なし】	
深 谷 市		羽 生 市	
【事業内容】 ・支給額：5,000円/月 ・支給月：9月・3月の年2回にそれぞれ当月分までをまとめて支給 【対象者】 ・大正15年(1926年)4月1日以前に生まれた外国籍の方（3ヶ月以上市内在住で永住資格を有し、年金を受給していない方）			